

# 童

2018年9月4日

昔昔 ちっとも雨が降らなかった・・・人も獣も」ではじまった影絵「七つの星」。本当にこの夏はその通りでした。40度の迫る猛暑 「暑いですね」という挨拶を何十回交わしたことでしょ。そして、更に過去最高になるほどの台風上陸それに伴う豪雨・・・

ほとんどの人達が、口にはおおっぴらに出さないけれど、確実に地球環境が変わって来ている。それも危険な方向に、そして、その原因は、私たちの「足ることを知らない」発展便利合理的物質的追求のせいだと。東日本大震災・原発があっても、結局、慎ましさや省エネなどの生活スタイルになることなく、何事もなかったかのように、相変わらず経済成長を求め、生活は変わらない・・・未来の子どもたちが 50年後には「明日の気温は45度 風速は45kmになるでしょう」という暮らしになってしまう事は、あまりにも悲劇だし、その原因は、今の私たちだとしたら・・・

「やはり、未来の子どもたちのために有益な事をして、有害なことは止める」努力を、皆で意識し、共有して、その環を広げていくしかないですね。

数時間後に、25年ぶりとか言われている台風21号 相当な大きな台風がやってくるという状況で、この童を書いています。「リンゴは相当落下して、大きな被害になるのか」「建物や施設は大丈夫か」「道路や山の心配は」など不安と心配は余儀ないですが、これも大きな気づきになるのか、これでもかこれでもかと、自然は、天は、私たちに「いい加減に眼を覚ましたら」と叫んでいるように感じます。しかし、心から「被害が最小限に」と願うのは言うまでもありません。冒頭から、厳しい挨拶になりましたが、2学期も、心穏やかでありながら情熱的に、一番の成長を感じる季節を満喫！！楽しんでいきたいと思えます。



## 【幸せと人間関係】

真っ暗な静けさの中に、自分の足音と自分の息づかい。ただ足許だけを見てひたすら歩く。見慣れたお地蔵様が数を刻んでくれる。確実に自分を包む空気が冷えてくるのを感じる。そして、ふと顔を上げて周囲を見ると、空が確実に明るくなって来ている。まさに、これから新しい命で、今日もスタートするぞという助走開始を自覚する。(飯縄登山)

非日常的な世界を幼児から大人まで、ハンディやアドバンテージなしで全員が同じ土俵で暮らした登山、最後の駐車場までの走りの分だけ、子どもたちが大人を超えていたか！？ 本当に、朝2時50分集合という常識外れの行事を実現させて頂きましてありがとうございます。心から、幸せ感を感じました。本当に感謝です。

夏休み、20代の頃に負けない程の嬉しいハードさのキャンプの中、ちょっとした合間に本を読みたくなり、何でも良いと本棚から適当にタイトルだけ見て選んだ本。「ニッポン・サバイバル」「下山の思想」「大富豪からの手紙」結果的にシンクロして、3冊とも「幸せ」というところで一致していて、引き寄せられたのか自分に必要だったのか。今回は、この3冊を引用します。

ハーバード大学75年に渡る研究で「人生を幸せにするのは何？」の結果は「良い人間関係に尽きる」でした。多くの人は、幸せを考える時、快不快の感情とリンクさせる「ご馳走が食べれて幸せだ」とか「豪華な旅館やセブな旅ができて幸せだ」とか。また他人の視線を気にして 同じような行動ができるのが幸せ「良い家を手に入れた」「一流大学一流企業に入れて幸せ」皆に羨ましがられて優越感に浸れて幸せ・・・などの他者志向型。もちろんそれで満たされる部分もありますが、現代の個別化分業化された暮らしでは、必ず他人にお願いしたり協力したり依存したりして暮らさざるを得ません。だから現代ではストレスが貯まるのでしょうか。

もちろん昔から人間関係のストレスはありましたが、仕事から家づくりなどのプライベートまで、首尾一貫して自分で受け持つ暮らしが主流だっただけに(分業制ではなく)、人間関係の調整はそれほど必要ではなかったと思います。他人に頭を下げてお願いする、手土産とお金を持ってお願いする、嫌な相手でも許可認可して欲しいからお願いするなどのストレスの原因。(嫁舅の人間関係だけは人生の永遠のテーマですが) 現代では、複雑な人間関係が公私に渡りありすぎていますね。その点では、青ちゃんは暮らしを自分で少しでも賄おうとやってきたので、それはかなり少ないかもしれませんが・・・認定こども園、既に役所の人達のスローな後付けのペースにストレスを感じ始めています！？

その人間関係に尽きる人生の幸せは、やはり人格パーソナリティと深く結びつくと言うものらしいです。一人と一人が結びつけば、そこに人間関係が生まれる。そして「人間関係の2極への分離」の法則があるらしく 「一人は前に進み派」と「現状維持派」に分かれるらしい。保守革新 右派左派もそう。夫婦もそんな傾向がありますね。そして、どちらが正しいか？の論争ではなく「どちらも正しい」「どちらでもいい」と認め合う。保守派は「新しいものを取り入れる素晴らしさ」と革新派は「安定の素晴らしさ」に気づく。青ちゃん夫婦も、ようやくこんな気づきか！？

また、人には2種類いて「与える人」と「奪う人」。「与えるのが好きな人」の所には人が集まり、「奪おうとする人」からは、皆去る。「内面的に満たされている人」は、愛や友情 やさしい言葉をくれる。一緒にいると、自然と心が和む。お金があってもなくても成功していてもしていなくても、何もなくても人に与えることができるし、それは、物でなくても、知識や知恵 元気 明るさ 安心感や愛情であるかもしれない。いずれにしても「自分を分かち合おうという態度の人」には人が集まるらしい。

それでは、よい人間関係を構築するのは、とてもシンプルで簡単でただ「相手の喜ぶことをするだけ」「自分の持っているもの」を与えるだけと言うこと。そして、人間は与えることにより、自分の器がどんどん大きくなり、相乗効果で、自分の内面も満たされ、更に与え、分かち合うレベルが上がっていくということ。

余談ですが 人生の半分以上を占める仕事も。「誰かに報いたい、誰かを喜ばせたいという恩返しのエネルギー」は、とても大きく、それさえあれば「真心の籠もった仕事」ができ、多くの人が応援してくれ、幸せの原石である良い人間関係が得られる。その恩返しのエネルギーが情熱であり、積み上げていく経験が工夫という。料理人が工夫せず、ただ10年間言われたことをして同じ料理を作っていたら、積み上がっていく経験は無い。仕事の工夫には、量と質と方向性(目標)がとても大切。工夫と情熱で、仕事上でも、良い人間関係が築けるといふもの。

そして、なぜ現代では、幸せにこだわるかと言うと 未来が不安不確実だから。だから、未来を何とかコントロールして不確実なものをできるだけなくしたいと考えます。(ファイトジャルランナーの活躍等)でも、世の中には永続的な確実な物はないし、現在の自然現象や戦争然り。その外側に求めた安全策が機能しなくなった時！！究極は、様々なものを受け入れる(避けられない苦しみ 悲しみ)ことにより人格を強くしていく、状況が悪くても、受け入れ、自分の器を大きく深くして行って、初めて不安や不確実、他人の視線などに左右されないものが形成され、何を幸せと感じれるかの人格が形成されるのでしょうか。人生の目的(幸せ)は、自分を差し出すことで、人に喜んでもらうこと！！

